

2016 年 10 月 24 日

NTT 東日本 新潟支店

NTTグループ及び陸上自衛隊第12旅団との 共同防災通信訓練の実施について

NTTグループ、及び陸上自衛隊第12旅団は、大規模な自然災害による通信孤立状況等を想定し、被災地における迅速な通信応急復旧に向けた共同訓練を下記のとおり実施します。本訓練を通じ、NTTグループ各社と陸上自衛隊との連携強化、及び災害復旧に関わる各種災害対策機器等の習熟を図ります。

記

1. 開催日時

2016 年 10 月 27 日(木) 8 時 40 分 ～ 11 時 50 分(予定)

2. 開催場所

白山運動公園 (新潟県小千谷市山谷 2234)

3. 共同訓練実施の背景

陸上自衛隊東部方面隊とNTT東日本は、「陸上自衛隊東部方面隊と東日本電信電話株式会社との連携に関する実施協定(災害発生時の連絡体制の確立、不測事態等における相互協力、訓練の実施等)」を締結しています。本共同訓練はこの協定に基づき、実施するものです。

4. 災害想定

十日町断層(新潟県西部)を震源とする、震度 6 強(M7. 4)の地震が発生により、小千谷市を中心に甚大な被害が発生したと想定する。

- ・周辺高速度道路、主要一般道は安全確認のため通行止め。JR各線も運転見合わせ。
- ・小千谷市を中心に広範囲での長時間停電が多発。
- ・長岡エリアの一部でNTT中継ケーブルが断線し、通信の孤立エリア、及び通信の輻輳が発生。

5. 訓練項目等

【訓練項目】

- ①ポータブル衛星機器による避難所への特設公衆電話の設置訓練
- ②災害用 Wi-Fi 機器による避難所へのインターネットサービス提供訓練
- ③陸上自衛隊ヘリによる、「災害対策機器運搬車両」等の空輸訓練
- ④マルチヘリによる被災状況調査訓練

- ⑤可搬型デジタル無線装置を用いた加入者ケーブル多重伝送装置による電話回線提供、及びドコモ移動基地局車への回線提供訓練
- ⑥移動電源車による通信ビルへの給電訓練
- ⑦ランチャーによる通信ケーブル架渉用通線の敷設訓練
- ⑧被災した通信ケーブルの応急復旧訓練

【その他演習】

- ⑨地下メタルケーブル、架空光ケーブル接続の実演
- ⑩NTT防災ソリューションの展示、紹介

- ・別紙 1 : 訓練タイムスケジュール
- ・別紙 2 : 訓練に用いる特殊車両・災害対応用機器
- ・別紙 3 : 訓練会場レイアウト

6. 参加組織

- ・陸上自衛隊 東部方面隊 第 12 旅団
- ・NTT 東日本（新潟支店、埼玉支店、埼玉南支店、埼玉西支店、栃木支店、群馬支店、長野支店）
- ・エヌ・ティ・ティエムイー関信越事業所（新潟 NW サービスセンタ、埼玉 NW サービスセンタ、栃木 NW サービスセンタ、群馬 NW サービスセンタ、長野 NW サービスセンタ）
- ・NTTファシリティーズ中央 北関東・信越支店
- ・株式会社ドコモCS 新潟支店
- ・日本コムシス株式会社
- ・株式会社TOSYS

7. その他

- ・実際の災害等、不測の事態が発生した場合は中止とさせていただきます。（雨天決行）
- ・自衛隊ヘリによる空輸訓練、及びマルチヘリによる訓練は、天候の状況により実施できない場合があります。
- ・取材を希望される場合は 10 月 26 日（水）15 時までに、下記までご連絡頂きますと幸いです。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

NTT東日本-関信越 新潟支店

企画総務部 総務・広報担当 : 南・田中

TEL 025-227-6483

受付時間 平日 9:00～17:30

開始	演習①	演習②	演習③	演習④	演習⑤	演習⑥	演習⑦	演習⑧
08:40			開会式、開会宣言	8:40~8:50				
09:00			9:00~ ・陸上自衛隊ヘリによるポータブル衛星機器の運搬					
09:20			9:20~ マルチヘリによる被災状況調査訓練 ~10:00 (40分)					
09:30			9:30~ ・ポータブル衛星機器による避難所への特設公衆電話の開設訓練 ~10:20 (約70分)	9:30~ ・可搬型デジタル無線装置と加入者メタリック多重伝送装置による災害対策本部、および仮設住宅等への電話回線提供訓練 ・可搬型デジタル無線装置とドコモの移動基地局車の運用による携帯電話環境の提供訓練 ~11:20 (約110分)	9:30~ ランチャーによる通信ケーブル敷設訓練~9:40 (10分)			
09:40					9:40~ 移動電源車による通信ビルへの給電訓練 ~10:40 (60分)	9:40~ 架空ケーブル応急復旧 光ケーブル、およびメタリックケーブルを用いた復旧		
09:50	9:50~ ポータブル衛星機器による避難所への特設公衆電話の設置訓練 ~10:50 (60分)	10:00~ 災害用Wi-Fi機器によるインターネットサービスの提供訓練 ~11:00 (60分)	10:30~ 陸上自衛隊ヘリによる災害対策車輛・機器、およびパイプ隊の運搬 ~11:10 (約40分)					
10:00								
10:10								
10:20								
10:30								
10:40								
10:50								
11:00								
11:10								
11:20								
11:30								
11:40								
11:50								
12:00								

閉会式、講評

解散

【別紙2】訓練に用いる特別車両・災害対応用機器等

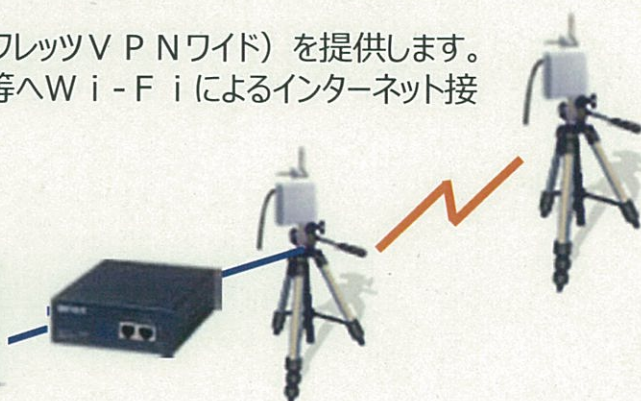
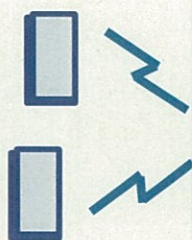
訓練項目①：ポータブル衛星車

◆衛星アンテナを搭載した特別車両で、1台につき、最大8回線（電話回線・インターネット回線）の利用が可能。通信が途絶している住民避難所等へ出動させ、特設公衆電話、インターネットサービスを提供します。



訓練項目②：ブロードバンド救済無線

◆アンテナを用いた無線中継により、インターネット回線（フレッツV P Nワイド）を提供します。また、ここにW i - F i ルーターを接続することで、避難所等へW i - F i によるインターネット接続サービスの提供が可能です。



訓練項目③：ヘリ搭載用災害対策機器運搬車

◆名称・仕様

ヘリでの輸送を可能にした「ヘリ搭載用災害対策機器運搬車」
（軽トラ仕様 2台／四輪駆動車仕様 1台＋オートバイ2台）

◆機能・特徴

自然災害等で陸路が遮断された場合も、ヘリで空輸できるように小型に改良された特別車両。
従来の災害対応用機器の運搬だけでなく、車両も空輸できることで、被災地域での移動が容易となり、迅速な通信サービスの確保を可能にします。
2015年3月導入。

◆参考：今回の訓練で搭載する機器

- ・無線によるN T T 中継回線応急復旧用装置（可搬型デジタル無線装置11 P -150M）
- ・組立て式ポータブル衛星



訓練項目④：
マルチヘリによる現地被害状況調査訓練

被災現場など、人が立ち入れない場所の被害状況確認や、通信ケーブル敷設に使用します。



訓練項目⑤：
加入者ケーブル多重伝送装置（UMC1000）

災害等により通信ケーブルが切断された際、加入者回線（避難所、お客様宅等を繋ぐ通信回線）を復旧するための装置です。訓練ではこの装置を用い、村役場災害対策本部、住民避難所等への通信サービス（固定電話、ひかり電話・インターネット接続回線等）の提供を行います。



訓練項目⑤：
可搬形デジタル無線装置（11P-150M）

N T Tビル間を結ぶ中継回線が災害等により切断した場合、無線による中継回線（伝送路）を構築するものです。



訓練項目⑥：移動電源車

長時間停電が発生し、N T T局舎や無線基地局の予備電源（バッテリー、エンジン）が停止した場合等に出動し、電力を提供します。これにより、停電による通信サービスの途絶を防ぎます。



訓練項目⑦：
ランチャーによるケーブル敷設訓練

被災現場などにおいて、人や工事車両が近づけない河川や谷を越えて通信ケーブルを敷設する際に使用します。



訓練項目⑧：穴掘建柱車・高所作業車

架空ケーブルが被災し、重要ユーザへの通信断、また電柱の傾斜、及び折損により交通に支障を与えている垂れ下がりケーブルの復旧に使用します。



■ 白山運動公園（所在地：小千谷市山谷2234）

- ① 衛星機器による避難所への特設公衆電話設置訓練
 ② 災害用Wi-Fi機器による避難所へのインターネットサービス提供訓練
 ③ 陸上自衛隊ヘリによる「災害対策機器運搬車両」等の空輸訓練
 ④ マルチヘリによる被災状況調査訓練
 ⑤ 可搬型デジタル無線伝送路を用いた加入者ケーブル多重伝送装置及びドコモ移動基地局車への回線開通訓練
 ⑥ 移動電源車による通信ビルへの給電訓練

訓練項目



訓練項目

- ⑦ ランチャーによる通信ケーブル架渉用通線の敷設訓練
 ⑧ 被災した通信ケーブルの応急復旧訓練
 ⑨ 地下メタルケーブル、架空光ケーブル接続の実演
 ⑩ N T T 防災ソリューションの展示、紹介
 ⑪ 自衛隊通信設備
 ⑫ 自衛隊通信端末設置場所（仮設小千谷市災害対策本部）